

4月に三陸鉄道が全面復旧 「陸中野田」駅は「道の駅のだ」を併設して人気を集める



2014年4月に全面復旧した三陸鉄道。久慈と宮古を結ぶのが北リアス線。陸中野田駅は久慈駅から2つめにある

NHKの朝のテレビドラマ「あまちゃん」で一躍、脚光を浴びた三陸鉄道。東日本大震災で大きな被害を受けたが2014年4月、全面復旧を果たした。地域の足として復興を支えるだけでなく、お座敷列車の運行など多彩なイベントを開催して観光客を集めている。

野田村の中心近くにある三陸鉄道の駅は「陸中野田」駅。大きな特徴は鉄道駅舎が1992年にオープンした「道の駅のだ」と合体していること。道の駅は2014年4月時点で全国に1000カ所以上あるが、鉄道の駅舎を兼ねているのは10カ所程度しかない。非常に珍しいタイプだ。

道の駅には『観光物産館ぱあぷる』があり、特産品展示販売コーナー、昔から野田村で行われてきた製塩の様子を模型で紹介する「塩の道」展示コーナー、地産地消レストラン『レストランぱあぷる』などが設けられている。1階で販売している野田村名産の「のだ塩」を使ったソフトクリームも観光客に好評だ。

野田村の復興計画では、村内の海岸線を走る三陸鉄道の線路部分を、津波の被害を防ぐための第2堤防として位置づけている。



「道の駅のだ」と三陸鉄道「陸中野田」の駅舎は同じ場所にあり、観光客を集めている